

■第 1 回検討委員会の意見と対応

意見要旨（第 1 回検討委員会）	今回の対応
<p>●基本計画の構成等</p> <p><管理運営を重視した計画づくり></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今はマネジメントの時代になっており、ゾーニングや動線計画という従来のやり方ではなく、どのような管理運営のやり方をするのかを先に決め、それに合わせて空間の使い方を決めていくやり方に変えないといけない。 	<p>→全体的に管理運営を前提として構成を見直し【資料 3】</p> <p>→第Ⅲ章 計画方針に「2. 利活用イメージ」として、11の利活用イメージモデルを追加し、検討すべき項目を抽出【資料 4-2 P102~P114】</p> <p>→場所ごとの特性に応じて、「第Ⅴ章 管理運営計画」を記載【資料 4-2 P155~P162】</p>
<p><具体を見据えた記載></p> <ul style="list-style-type: none"> ・両公園の比較は有効であり、その結果をもとに、施設更新など具体的に見据えていることを基本計画に記載しておくべき。 ・両公園のクオリティ（質）とクオンティティ（量）の比較で、何が問題かが浮かび上がる。 	<p>→第Ⅱ章「2. 現況把握」で各種の比較をしたうえで、「4. 課題の整理」に考え方を追加【資料 4-1 P91~P100】</p>
<p>●広域的な視点での計画づくり</p> <p><周辺地域との関係></p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園内での連携だけでなく、まち全体としてどう考えていくのかも計画に盛り込まなければならない。エリア外に対してどのようにセントラルパークの影響を及ぼしていくのか。 ・周辺との関係は、連続的な街並みや公園と調和した景観誘導などのまちづくりの観点と、天神や六本松など周辺地区との回遊性といった人の動きの観点がある。 ・明治通りに美しい建物を並べて1階部分はカフェにするなど、周辺のまちも巻き込んでいくことが公園をよくしていく。 	<p>→第Ⅰ章「2. 対象エリア」の記載を修正【資料 4-1 P2】</p> <p>→第Ⅱ章「2. 現況把握」及び「4. 課題の整理」に周辺地域からの視点を追加【資料 4-1 P37、P91~P93】</p> <p>→「第Ⅳ章 再整備計画」に周辺地域からの視点での考え方を追加【資料 4-2 P116~P118】</p>
<p><外部経済効果の活用></p> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺の不動産価値が向上するなど、公園は外部経済効果を有しているが、メリットをとれていない。公園の強みをうまく利用しながら、公園をイニシアチブにしてまちづくりをしていくべき。 	<p>→第Ⅱ章「2. 現況把握」に周辺地価の現状を追加【資料 4-1 P36】</p> <p>→第Ⅴ章「4. 地域連携・体制づくり」に取組みの方向性を記載【資料 4-2 P167~P171】</p>
<p><インクルーシブデザイン></p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからは、公園内のバリアフリーやユニバーサルデザインだけでなく、公園までのアクセスを含めたインクルーシブデザインの考え方が必要である。 	<p>→第Ⅱ章「4-1. 周辺地域からの視点での課題」及び第Ⅳ章「1. (1) 周辺地域からの視点での考え方」に記載【資料 4-1 P91~P93、P116~P118】</p>

<次頁へ>

意見要旨（第1回検討委員会）	今回の対応
<p>●芸術文化ゾーンの設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化ゾーンの捉え方が気になっており、歴史も芸術文化と捉えると、両公園の一体化ができると思う。 ・芸術文化と歴史というゾーンを分けるからややこしくなるのかも。全体が文化度が高いゾーンという前提を持ってほしい。 ・ゾーニングやエリア分けは大事だが、必ず緩衝帯をどうするかといった話になる。鴻臚館と福岡城は、ゾーニングがラップした考え方がいいと思う。 ・空間の一体化だけではなく、史跡やアメニティ施設といったクオリティの一体化も必要である。 	<p>→第IV章「1.（2）ゾーニング」を修正 【資料4-2 P119～P121】</p>
<p>●核となる施設の整備</p> <p><全般></p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちの機能として公園を設定するのならば、公園の性格や役割をはっきりさせたほうがいい。この公園は、地域の芸術文化や歴史文化が重要だが、既存の施設だけでは、海外からの観光客も含め、今後増加する利用者の興味を吸収することが難しい。 ・マネジメントや一体感の創出、まちを変えようという民意を創生するために、具体的な目標やイメージ、象徴となるような中核施設が必要である。 ・基金を使って象徴的なものを早く造ることも必要。 ・福岡の観光のシンボルとなるよう、文化や歴史を強調した施設づくりが必要。 ・プロジェクトマッピングのような新しいメディアシステムを取り込むことで、新しい芸術と歴史資源とが結びつき、新たな資産を生むという考え方もできる。 	<p>→第IV章「1.（4）主要な施設」を修正 【資料4-2 P123～P124】</p>
<p><歴史の重層性の表現（鴻臚館跡の復元施設）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光客をどう回遊させるかという意味で、福岡城本丸や鴻臚館は、何か施設のイメージはあるのか。 ・鴻臚館の展示館は、福岡城の石垣に隣接しており、正倉院風の建物で覆うのではなく、現代的なガラス張りの建物にし、カフェを楽しみながら両方の時代を感じられる施設にすべき。 ・古代と近代の間に現代的な表現で歴史のバランスを取るというやり方はすごくいい。例えば、臚館跡に国立迎賓館を建てることは歴史的にも強い説得力があり、地域自体のクオリティが上がり、周辺開発が促進されると思う。古代と現代の感性を融合した新しい発想のイノベティブな総合体になるべきである。 	<p>→第IV章「3-5.（3）鴻臚館跡」に整備の方向性を記載 【資料4-2 P148～P149】</p>
<p><新しい県立美術館></p> <ul style="list-style-type: none"> ・県立美術館が立地するのであれば真剣に検討する価値があると思うが、その可能性はあるのか。 ・新県立美術館が公園内に配置されれば、市立美術館との相乗効果で、芸術文化機能の向上が図れると思う。 	<p>→県立美術館については、別途、「新・福岡県立美術館基本構想検討委員会」で検討中であるが、設置場所について議論する予定はないと聞いている。今後の動向を注視する。</p>

意見要旨（第1回検討委員会）	今回の対応
<p><便益施設などの施設整備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大濠公園の飲食施設や遊戯施設は土日満員であり，福岡城跡や鴻臚館跡などを含めて一体的に考えてほしい。 ・日本庭園，市立美術館，能楽堂の3施設をつないただけでは芸術文化エリアとはいえない。新たな施設整備や，大道芸など小規模なイベントができる場を設け，施設間をつなぐ工夫も必要。 	<p>→「第IV章 再整備計画」及び「第V章 管理運営計画」で今後具体化予定 【資料4-2 P131～P136、P166】</p>
●エントランスや駐車場の整備	
<p><エントランス></p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園は入口が狭くなりがちなので，ボトルネックが起きないような公園に変えていく必要がある。 	<p>→第IV章「2. 動線計画」に考え方を反映 【資料4-2 P127～P128】</p>
<p><駐車場・駐輪場整備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光バスの需要はどれくらいあるのか。 ・大濠公園は利用者が多く，駐車場や駐輪場も手いっぱいである。 ・大濠公園の池の下に駐車場が作れないか。 	<p>→第II章「2. 現況把握」に大型バスの駐車場データを追記 【資料4-1 P39～P40】 →第IV章「3. 施設計画」に駐車場及び駐輪場の整備計画を記載 【資料4-2 P134～P136】</p>
●経営管理	
<p><公園の賢い経営></p> <ul style="list-style-type: none"> ・マネジメント時代の新しい公園づくりとして，民活を含めて公園の賢い経営が必要。整備費や管理費の状況をデータ化し，行政はあまりお金を出せないことを確認しながら議論すべき。 	<p>→第II章「2. 現況把握」に公園の整備や管理に係る費用のデータを追加 【資料4-1 P80～P84】</p>
<p><ストックマネジメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでつってきたものをどう活かしていくかというストックマネジメントというキーワードも重要。 	<p>→第V章「管理運営計画」で今後検討予定 【資料4-2 P155～P171】</p>
●運営管理	
<p><利用の平準化></p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園の利用状況は，年度ではなく，季節や月，日ごとに細かく取り，ある特定の時期に人が集中しないよう，利用者が平準化している状態をつくるのが大事。 	<p>→第II章「2. 現況把握」に日毎のデータを追加 【資料4-2 P87～P88】 →第V章「3. 企画運営計画」で今後検討 【資料4-2 P160～P162】</p>
<p><ルートの時間設定></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドイツの「教育の路」では，決められたルート上の要所に，時間設定が示された解説板がある。今回も，各コースをどのぐらいで回れるかの時間設定が重要である。 	<p>→第V章「3. (3) 両公園を巡る利用プログラム」に距離・時間設定を追記 【資料4-2 P163～P166】</p>
<p><イベント時の音の制限></p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろなイベントを開催する際に，どのくらい音が出せるのかということも押さえておくべき。 ・大濠公園周辺にマンションが集中しており，イベント時の音の苦情もきている。管理面を最重点で考えていただきたい。 	<p>→第V章「3. 企画運営計画」で今後検討 【資料4-2 P160～P162】</p>

<次頁へ>

意見要旨（第1回検討委員会）	今回の対応
<p>●体制・市民参加</p>	
<p><運営体制></p> <ul style="list-style-type: none"> ・両公園は，国，県，市と行政がまたがり，文化的にも多様であることから，統一的な組織体制を検討すべき。 	<p>→第Ⅴ章「4. 地域連携・体制づくり」に考え方を記載。 【資料4-2 P167～P171】</p>
<p><市民・企業等の参加></p> <ul style="list-style-type: none"> ・官民連携して進めていくことが必要。NPO福岡城市民の会と市で共働事業を進めており，説明するチャンスがあるといい。 ・計画策定段階や管理の中に住民との対話の場を設けることで，住民の理解の深まりや，情報の共有を図ることができる。 ・エリアマネジメントのような組織を立ち上げ，人とお金を持ち寄って，計画づくりから管理まで一体的に進めるやり方もある。 	<p>→本検討委員会委員に対して，1/30開催の市民フォーラム（NPO福岡城市民の会主催）の開催案内を送付 →第Ⅴ章「4. 地域連携・体制づくり」に考え方を記載 【資料4-2 P167～P171】</p>
<p>●その他</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・公園名称の統一も必要 	<p>→両公園はそれぞれ都市計画決定された公園で，今すぐ一つの公園として名前をつけるのは難しいが，今後，いろいろな方の意見を聞きながら検討する。</p>